

メイン



各章ごとに分ける

学生番号：

調査結果と分析

■ アンケートの集計結果

各候補の評価点を以下の表 2 にまとめる。

表 2 組合せ候補の評価点（人気度）

組合せ候補	候補 1	候補 2	候補 3	候補 4	候補 5	候補 6	候補 7	候補 8
評価点	3.2	5.3	3.7	2.8	4.9	2.3	8.5	8.7

■ 分析結果

準備する行楽弁当の候補として、次のような要素を備えたものに対し、評価が高いこと。

- ・ 健康志向の「野菜系」の主菜であること。
- ・ 副菜については、「和風」の評価が高い。
- ・ 「季節物」の副菜は、主菜の要素の影響を強く受ける。

考察と今後の展望

■ 改善点

今回、行楽弁当の主菜と副菜ごとに 3 つの特徴を準備して、それらの組合せ候補に対する購入意欲を調査し、購入意欲を点数化して分析を行った。評価点の低い組合せについて、購入意欲を向上させるべく改善策を考案し、今後の活動において、商品名や価格を付加する等、販売効果を上げるべきであると考えた。今後の活動において、商品名や価格を付加する等、販売効果を上げるべきであると考えた。今後の活動において、商品名や価格を付加する等、販売効果を上げるべきであると考えた。

■ 今後の活動

価格と商品名を決定し、秋の学園祭で試作弁当を販売する。その後、販売結果を分析し、調査報告と合わせて、次年度の春の行楽弁当販売に反映する。チームメンバーを追加し、販売プランを策定する。本チームの活動工程を、図 2 に示す。

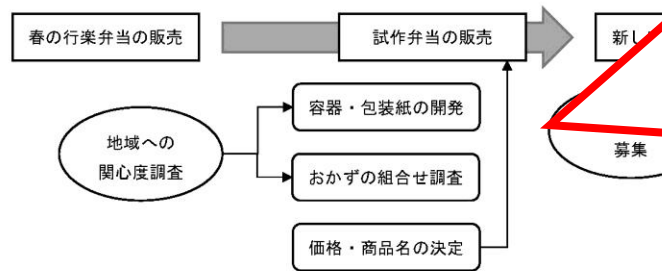


図 2 行楽弁当開発チームの活動工程

Word の表機能を利用

Word の「挿入」にある

「図形」から矢印や長方形、楕円を挿入し、フローチャートを作成

メイン

W

Word

日本も育児休暇制度は充実しているにも関わらず、なぜ取得率は低いのかという話題があった。また、最近では日本でも家庭科などで親になるための教育などの動きが見られ、これも重要な資料になると考えた。

(2) 公開クロスセッション

最初に、ポスターセッションで行った自分たちの発表の内容について、日本の子育ての現状についてである。日本の父親は子どもと過母親任せの傾向がある（左下図参照）。また、日本では親になるが浅い状態で親になってしまっている人が多く、子育てが不安い親が多い。次に、育児休暇の活用についてである。スウェーデンが十分に活用されており、父親も積極的に育児に参加しているが、日本はあまり活用されていない。このことの原因の

は、日本は性別役割分業意識が強いことにある。家庭科の部分には「固定的な教科書が書かれている。具体的な事例として、学校全体の教育活動の中で、通して、親としての自覚や役割意識を高めるためには、この事例のように地



プリンターで教科書に載っている図をスキャン



スキャンした画像を貼り付け

線で囲いたい範囲の文章を選択する



「ホーム」にある「罫線」から「外枠」を選択

めるため、「被支援者を支えることができた」という成功例、すなわち自分たちの理想を押し通してしまいがちになってしまうと考える。だからと言って失敗例を作るというのは、それはそれでお門違いであるような気がする。また、オンライン模擬支援を作っていく上で考えなければならぬことは無数に出てくるが、実際の子どもを相手にしているわけでは

（「学校教育相談Ⅰ」最終報告書、7頁）

活動のデメリットは支援案を考えることの難しさにある活動では実際に子どもと関わっていく中で徐々にその、模擬支援活動では最初からそれらの設定を考えなければならず、支援（ロールプレイ）を行うため、子どもを行うということも難しいと考える。

活動にもメリットとデメリットがあることが分かったのではないかと考えた。

るオンライン模擬支援にはいくつかの課題があり、こないと考える。とは言え、オンライン模擬支援活動にないメリットもあると思われるため、実際の子どもと予行練習のような位置付けで（オンライン）模擬支援のライブパートナー活動と模擬支援活動を組み合わせることで、授業や模擬試験、模擬裁判などに活用の余

（「学校教育相談Ⅰ」最終報告書、7.8頁）

を知った上で支援を行うことがデメリットである。考える過程とロールプレイをする過程でグループをパートナー活動により近い活動にすることができるので

探求ネットワーク活動を行った。まず、私が2年目も継続した理由は次のようなものだった。

（前略）探求ネットワークは学年によって役割が異なっていて学年ごとに異なる学びがあるため、継続しないと分らないこと・学べないことがたくさんあるというような話が印象的だった。個人的にはこれが2年目継続の最大の要因だったと考える。

（「総合的な学習の時間と特別活動」後期最終レポート、3頁）

たしかに2年目は活動を運営していく立場であり、1年目は違った感覚で活動に臨むことができた。しかし今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により探求ネットワークもほとんどオンラインでの活動となり、例年と比べると学年ごとの役割の違いがはっきりしていなかったように思う。特に感じたのは子どもとの係わり方についてである。通常、1年目は子どもと係わることに全力を注ぐことが、2年目はそのサポートをすることや活動全体の流れをコントロールすることが役割であると考えられる。しかし、今年度は2年目が子

メイン



Word (生徒)

9. 学習指導の過程

学習の流れ	Word	活動への支援と留意点
導入 (15分)	<p>○挨拶をする。</p> <p>○スモールトークを行う。</p> <p>T : Today, I want to show you a video. In last class, we learned that foreign people had troubles in disasters because they couldn't get enough information. This is a real case of Kumamoto earthquake.</p> <p>○動画を見る。(3分)</p> <p>T : In this video, what problems do foreign people have? Talk with your 横 partner.</p> <p>○外国人がどのような問題を抱えているかということについてペアで伝え合う。(3分)</p> <p>○全体共有 (5分)</p> <p>T : In this video, what problems do foreign people have?</p> <p>S : They haven't experienced as many earthquakes as Japanese people have.</p> <p>S : They don't know where the shelter is.</p>	<p>・動画を見る視点 (What problems do foreign people have?) を黒板に書いておく。</p> <p>・外国人はどのような問題を抱えているかということに注目して動画を見てもらう。</p>



の表機能を利用

Word

メイン



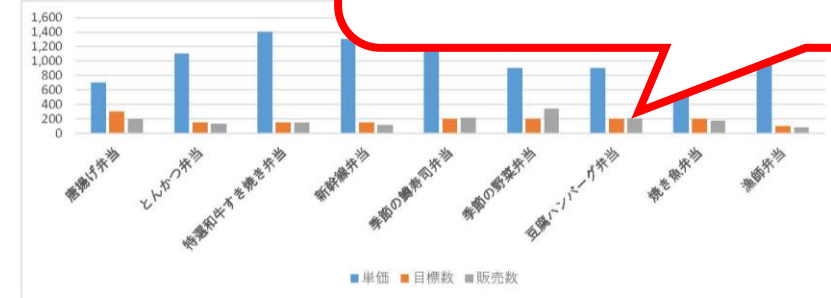
Excel

「売上金額」、「売上比率」、「達成率」を関数を用いて計算する

「単価」、「目標数」などを打ち込む

作成した表をもとに棒グラフを作成

唐揚げ弁当	1,100	150	133	146,000	11.5%	88.7%
とんかつ弁当	1,400	150	141	197,400	11.5%	94.0%
	1,300	150	112	145,600	8.5%	74.7%
	1,300	200	216	280,800	16.3%	108.0%
	900	200	338	304,200	17.7%	169.0%
	900	200	285	184,500	10.7%	109.5%
	1,000	200	200	200,000	10.0%	100.0%



メイン

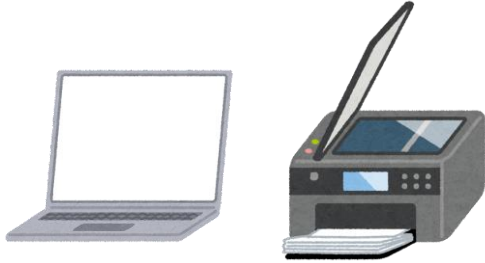


スライドのデザイン
を4:3に設定

テキストボックスを
挿入し、文字を入力

Japan. Eat Sushi, Whales or Dolphins Every Day

これらのレポートに
使用したもの

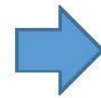


画像を挿入



図形(楕円)を用い
て、画像を見やすく
くする

「図形」から「矢印」を
挿入し、見やすくする



- Do Americans eat
Germans eat saus
Sushi may be the
most of us do not
- Whales were eate
common food no

Do
day?
od, but
not so